

専 攻	学 位 論 文 の 審 査 基 準
数物科学専攻	<p>学位（博士）論文の審査は、数物科学専攻の学位授与方針（DP）に従い、以下の項目について、主査及び副査4名以上の審査員により審査し、その結果を総合的に判断して可否を決定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 博士論文は、査読付き学術雑誌に掲載された、又は掲載が決定した論文（参考論文）の研究成果を主たる内容として書かれていること。</li> <li>2. 博士論文は、当該分野における著者の学識を示すに十分な内容の総合報告部分を含んでいること。</li> <li>3. 参考論文が単著で書かれている場合は、参考論文の大部分を博士論文の中で利用することができるが、共著の場合には、博士論文として文章が新たに書き下されていること。</li> <li>4. 先行研究論文の結果や文章、関連論文は公正に引用されていること。</li> </ol>
物質化学専攻	<p>学位（博士）論文の審査は、物質化学専攻の学位授与方針（DP）に従い、以下の項目について、主査及び副査4名以上の審査員により審査し、その結果を総合的に判断して可否を決定する。</p> <p>論文審査項目</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 当該研究領域における博士としての十分な専門知識と実践的スキル（国際的な研究・コミュニケーション能力を含む）を身につけていること。また、問題を的確に把握、解明・解決する能力を身につけていること。</li> <li>2. 研究テーマの設定が申請された学位に対して妥当であること。</li> <li>3. 博士論文研究に際して、適切な研究（調査・実験・解析）方法を採用し、それによって得られた結果に基づいて具体的な分析・考察がなされていること。</li> <li>4. 当該研究領域において、独自の価値を有するものとなっていること。</li> <li>5. 論文の構成・記述が、十分かつ適切であり、結論に至るまで一貫した議論がなされていること。</li> <li>6. 学位論文の全文又はその主要部分の内容について、本課程在学中に申請者が中心になってまとめた英文の論文が、少なくとも1編、学会、またはそれに準ずる機関によって発行された査読付き学術雑誌に掲載または掲載決定されていること。</li> </ol>
機械科学専攻	<p>学位（博士）論文の審査は、機械科学専攻の学位授与方針（DP）に従い、主査及び副査4名以上の審査員により、以下の審査項目を総合的に判断し、当該研究分野の十分な知識と自立して研究活動を行う能力を有することが論文を通して証明されているか否かを判定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 機械工学を基盤とした自然科学を研究領域とした学術論文であり、明確な課題の下、設定されたテーマが妥当であること。</li> <li>2. 設定されたテーマに適切な方法が選択されており、全体を通じて展開されていること。</li> <li>3. 国内外の研究論文が適切に引用・参照されており、それらの成果を生かして研究が展開されていること。</li> <li>4. 論述を裏づける資料・文献が適切に提示され、学術論文として体系的な構成がなされていること。</li> <li>5. 結論に至るプロセスが論理的かつ実証的であること。</li> <li>6. 全体として、設定されたテーマに独創的な観点があること。</li> </ol>

フロンティア工学専攻	<p>学位（博士）論文の審査は、フロンティア工学専攻の学位授与方針（D P）に従い、以下の項目について、主査及び副査4名以上の審査員により審査し、その結果を総合的に判断して可否を決定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 博士論文の内容について、本課程在学中に申請者が筆頭著者または責任著者としてまとめた論文1編以上が、審査員制度のある学術論文誌に掲載または掲載決定されていること。</li> <li>2. 当該研究領域における博士としての幅広い専門知識と問題解決力を身につけていること。</li> <li>3. 研究の背景、目的、必要性が明確であり、研究テーマの設定が申請された学位に対して妥当であること。</li> <li>4. 適切な研究計画のもと、妥当な研究方法を採用し、遂行・分析・考察していること。</li> <li>5. 博士論文が当該研究領域において優れた内容であり、独自の価値を有するものとなっていること。</li> <li>6. 博士論文の構成・記述が、十分かつ適切であり、結論に至るまで一貫した議論がなされていること。</li> </ol>
電子情報通信学専攻	<p>学位（博士）論文の審査は、電子情報通信学専攻の学位授与方針（D P）に従い、以下の項目について、主査及び副査4名以上の審査員により審査し、その結果を総合的に判断して可否を決定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 博士論文の内容について、本課程在学中に申請者が筆頭著者または責任著者としてまとめた論文が、審査員制度のある学術論文誌に掲載または掲載決定されていること。</li> <li>2. 英語による論文発表あるいは口頭発表、若しくはそれに相当する経験を有していること。</li> <li>3. 当該研究領域における博士としての十分な幅広い知識を修得していること。</li> <li>4. 研究の背景、目的、必要性が明確であり、研究テーマの設定が申請された学位に対して妥当であること。</li> <li>5. 的確な研究方法や研究計画を立て、遂行・分析・考察していること。</li> <li>6. 既習の知識や理論を用いて、結果を定性的・定量的に説明していること。</li> <li>7. 得られた研究成果を他の研究報告と比較し、独自性が明確に示されていること。</li> <li>8. 論文は、背景と目的、研究方法、結果と考察、結論、参考文献などが、適切な図表も利用して順序立てて記述できていること。</li> <li>9. 科学技術文書として客観的かつ専門的に、曖昧さがない文書表現であること。</li> </ol>
地球社会基盤学専攻	<p>学位（博士）論文の審査は、地球社会基盤学専攻の学位授与方針（D P）に従い、以下の項目について、主査と4名以上の副査から構成される審査委員会による審査を実施し、その結果を総合的に判断して可否を決定する。</p> <p>学位論文審査項目</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 当該研究領域における博士としての十分な専門知識と実践的スキル（国際的な研究・コミュニケーション能力を含む）、問題を的確に把握し解明・解決する能力を身につけていること。</li> <li>2. 研究テーマの設定が申請された学位に対して妥当であること。</li> <li>3. 研究に際して、適切な研究（調査・実験・解析）方法を採用し、それによって得られた結果に基づいて具体的な分析・考察がなされていること。</li> <li>4. 学位論文が当該研究領域において、独自の価値を有するものとなっていること。</li> <li>5. 学位論文の構成・記述が、十分かつ適切であり、結論に至るまで一貫した議論がなされていること。</li> <li>6. 学位論文の内容について、本課程在学中に申請者が中心になってまとめた学術論文が、審査員制度のある学術雑誌等に掲載または掲載決定されていること。</li> </ol>

生命理工学専攻	<p>学位（博士）論文の審査は、生命理工学専攻の学位授与方針（D P）に従い、以下の項目について、主査と4名以上の副査から構成される審査委員会による審査及び最終試験を実施し、可否を決定する。</p> <p>論文審査項目</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 当該研究領域における博士としての優れた専門知識と実践的能力を身につけているか。また、問題を的確に把握、解明・解決する能力を身につけていること。</li><li>2. 研究テーマの設定が申請された学位に対して妥当であること。</li><li>3. 研究に際して、適切な研究（調査・実験・解析）方法を採用し、それによって得られた結果に基づいて具体的な分析・考察がなされていること。</li><li>4. 博士論文が当該研究領域において、優れた研究業績であり、独自の価値を有するものとなっていること。</li><li>5. 博士論文の構成・記述が、十分かつ適切であり、結論に至るまで一貫した議論がなされていること。</li><li>6. 博士論文の内容について、本課程在学中に申請者が中心になってまとめた英語による論文1編以上が、審査員制度のある学術雑誌などに掲載または掲載決定されていること。</li></ol>
---------	---